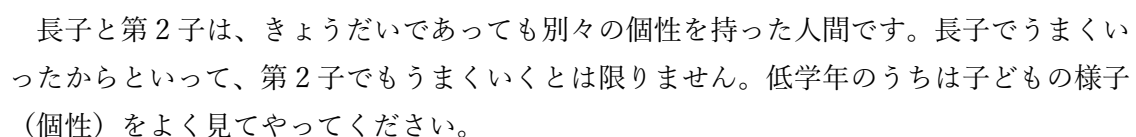


令和5年12月5日



子どもは、分からないのに要領よく分かったふりをしているかもしれません。すらすら本が読めないのに、読めるふりをしているかもしれません。普通にしゃべっているからといって、正しく文が書けるとは限りません。算数でも、意外なことで困っていることがあります。

これらのほとんどは、早期に適切に子どもにかかわってあげることで改善します。しかし、気づかずに放っておくと、後々まで尾を引く課題を子どもに背負い込ませることになります。子どもは、今は屈託のない笑顔を見せているかもしれませんが、本人も親も気づかないうちに、しんどさを溜めています。子どもがつらいと感じるようになった時は、背負っているものの重さに驚く時でもあります。

そのため我々教職員は、低学年には丁寧に関わるのですが、それをご家庭の協力がなければうまくいきません。例えば、間違いがいっぱいを持ってきた宿題は学校で直させていますが、子どもは休み時間を費やして嫌々することになります。家で指摘してもらって、その時直した方が分かりやすく身になるでしょう。

親子で性質は似るものです。「私も子どもの頃そうだったけど、なんとかなった。」と親は思うかもしれませんが、子どもにはその性質が色濃く表れることがあります。そうして子どもが苦勞している事例をたくさん知っています。ですから、子どもことをよく見てやってくださいね。

子どもそれぞれに個性があり子育てはたいへんですが、そのぶん楽しいことがたくさんあります。しかし、親として、子育ての落とし穴にはくれぐれもご注意ください。

出しゃばったことを申し上げました。



おわりに

年末年始は何かと忙しいですが、それに反してゆっくり過ごしたい気分になります。1月28日が仕事納めで1月4日が仕事始め、年末年始のお休みは6日間です。でも、年末の3日間はゴロンとしていようものなら・・・！です。だから、正月3日間が安泰であるために、自分にできることを進んで見つけ頑張ります。結局、休みは何日？（※私事を述べました。年末年始もお仕事をしてくださる方々には感謝です。）

また、常々気になっていることなのですが、この多様性を尊重する時代にもかかわらず、世の中お盆休みとは言いますがクリスマス休みにはあまり関心が高まらないですよ。キリスト教徒はたくさんいるでしょう。（正月休みとどっちをとるかということもあると思いますが。）教員でもクリスマスの日に研修会への出席を求める通知が来たことがありました。少数者が声を上げなくてもいいような配慮のある社会であってほしいものです。

みなさま、よい年末を過ごし、よいお年をお迎えください。

